第６６回福島県高等学校体育大会の中止について

福島県高等学校体育連盟
会　長　　遠　藤　　均

日頃から、本連盟の活動に対しまして、御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、このたび、新型コロナウイルス感染拡大を受け、生徒や関係者の方々の健康や安全面を最優先し、今年度の県高校大会(地区予選会を含む)を中止することとしました。各種会議を開催し、大会開催に向けて協議を重ねてきましたが、想定を上回る緊急事態に苦渋の決断をせざるを得ない状況となりました。

高い目標を掲げ、日々厳しい練習を積み重ねてきた高校生の皆さんはもちろん、情熱をもって指導に当たってこられた先生方、そして、子どもの健やかな成長を願い、その活動を一番近くで支えてこられた保護者の皆様方にとりましては、やむを得ないとはいえ、何かやるせない気持ちを強く持たれていることと推察します。

特に、最後の大会となる３年生の皆さんにとっては、この大会が中止になることがどれほど残念なことか想像に難くありません。どう気持ちを切り替えていけばいいのかわからない人も多いかと思います。本来、スポーツに打ち込む高校生の皆さんの取組みを支え、応援する立場の者として、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

しかし、生徒の皆さんには、私たちが今直面している新型コロナウイルス感染症による世界規模の混乱の状況は深刻さを増し、多くの人々の生命が危機に瀕し、経済活動が停滞し、人々の往来も妨げられている状況をしっかり受け止めていただきたいと思います。そして、自分自身の健康を、周りの大切な人の健康を守るために自分にできることは何かを主体的に考え、部活動をとおして学んできたこと(目標を持つこと、努力すること、耐えること、他者を思いやること、フェアプレーの精神、スポーツマンシップなど)を生かし、今後の高校生活を充実したものにしてほしいと思います。東日本大震災からの復興に取り組んできた皆さんには、きっとできるはずです。これから、皆さんが様々な場面で活躍されることを心から願っています。